



第二中だより

No. 585

開校 55 周年

生徒数 490 名

令和 3 年 12 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793 FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「成長の秘訣」

校長 橋本 真

早いもので今年も残すところ3週間余りとなり、いよいよ冬休みが始まります。今月も3年生の三者面談、1・2年生の期末保護者会を予定しています。ご多用の中の来校になりますが、宜しくお願いします。期末保護者会においては二学期の学習面や生活面、学校行事、学校生活等の総括があります。

省察 (せいさつ：プラス評価を含めた振り返り)

節目、節目に自分の取り組みを省みることはとても大切なことで自分の成長のためには不可欠です。一般的に振り返る際、よく反省するといえます。反省というのは、自分のよくなかった点(ネガティブな観点)を認めて改めようと考えことです。

これは、これで非常に大切なことですが、皆さんに意識してほしいのは、できなかったことや失敗したことだけを振り返るマイナス評価だけではなく、良かった点やうまくいった点のプラス評価(ポジティブな観点)、可能性に気づく機会としてほしいと思います。

成長の秘訣

ここで、ある経済誌の編集長などを経験した方の話を紹介します。彼は、何万人の人と面接を行い、仕事ぶりの観察を通して、「仕事ができる人」の共通点を見付け、ある本に記しています。その共通点とは、依頼や相談されたりしたことは、「まずはやってみましょう」と断らずに引き受けているということです。仕事が舞い込んで、「できない理由」を探して断るのではなく、それどころか、すぐに仕事をやり遂げるための方法や段取りを

考え、実行に移していきます。その試行錯誤の過程で多くのことを学び、「これまでできなかったことができるようになり」多くのスキルを身につけることができたそうです。何事にも、「まずやってみよう」と考え、主体的に取り組むことが更に自分の能力や可能性を伸ばすことにつながると思います。意欲をもって主体的に取り組めば、結果がどうであれ何か大切なことを学ぶことができます。主体的に取り組む、自己の**省察**を行うことが“成長の秘訣”につながるのではないかと思います。

「いじめ撲滅強調月間」の取り組み

いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に集中的に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたら一人で悩まず相談してください。本校では、「いじめは絶対に許されるものではない」という雰囲気を学校全体に醸成していくことを目指し、全校生徒によるいじめの未然防止を啓発する「標語」を作成しました。生徒一人一人が、いじめに向かわない態度や能力、決して見過ごすことなく、やめさせる手立てを取ることができる勇氣、態度、能力を身に付けてほしいと思います。

- ・いじめは ブーメラン 必ず自分に返ってくる。
- ・陰口で 笑うあなたも 言われてる。
- ・悪口は 心に刺さる 言葉の矢。
- ・SNS つぶやきの中に SOS。
- ・中傷は とても立派な 凶器だよ。



